

◆当社の経営方針・経営計画

■ 経営方針

当社グループは、時代に即応した顧客が求めるニーズの製造設備、インフラ設備を企画・製作・建設・ メンテナンスまで一貫して幅広く対応しております。

また、長年培った技術の蓄積と新時代でのエンジニアリングをコアに、「お客様が満足する製造設備の提供」を経営基本方針としております。

この経営基本方針の下、経営計画推進により利益体質を強化し、企業価値を創造し、株主価値向上を目指します。

■ 中期経営計画

当社グループは、連結売上高300億円をターゲットとしております。 中期的な会社の経営戦略を推進するために下記方針で臨みます。

- ①機械・電気一体によるフルターン型プラント建設の拡張。
- ②海外対応を強化する(海外子会社3社の売上アップ。国内客先の海外案件への積極的な営業)。
- ③自動車関連装置・医薬関連装置・熱機器装置、伝送監視システムの拡充。オリジナル製品の確立。
- 4協力企業の育成と連係。
- ⑤品質保証を高めるため、社員のスキルアップ、技術指導、検査体制の向上をはかる。

◆平成27年3月期決算の総括

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の長期化や物価高により個人消費が低迷し、企業収益は円安による輸出恩恵と輸入物価高の両面があり、業種・規模により明暗が分かれ、先行き不透明感は払拭できない状況で推移しました。

設備工事業界におきましては、公共投資は堅調に推移し、民間設備投資も輸出企業中心に回復が見られ、 持ち直しの兆しが見え始めました。しかしながら、製造業の海外への設備投資の流れは続いており、受注競争 は厳しい状況のまま推移しました。

このような状況下で、当社グループはお客様のニーズに合った設備の提案を積極的に行い、受注の確保・拡大をはかってまいりました。国内は民間設備投資が好調に推移し、公共工事も堅調でありました。海外はタナベタイランド社のHDD部品が好調に推移したため、受注高・売上高は前連結会計年度を上回りました。

利益面につきましては、増収効果とタナベタイランド社の利益の貢献により、営業利益、経常利益は前連結会計年度を上回りました。当期純利益は、埼玉技術センターのメカトロニクス事業において減損の兆候が認められたため、263百万円の減損額を特別損失に計上した影響により前連結会計年度を下回りました。

【連結】 【単独】

受 注 高	27, 446百万円	(前年同期比 8.0%増)	受	注	高	25, 317 百万円	(前年同期比 8.3%増)
売 上 高	27,024 百万円	(前年同期比 7.3%増)	売	上	高	24, 957 百万円	(前年同期比 7.2%増)
経常利益	1,084 百万円	(前年同期比 19.0 % 増)	経「	常利	益	905 百万円	(前年同期比 3.1 %減)
当期純利益	413 百万円	(前年同期比 19.5 %減)	当其	月純利	山益	271 百万円	(前年同期比20.5 %減)
受 注 残 高	5,059 百万円	(前年同期比 9.1 % 増)	受	注 残	高	4, 798 百万円	(前年同期比 8.1%増)

〈連結子会社〉

タナベタイランド社 田辺商貿(上海)有限公司

タナベエンジニアリングシンガポールPte. Ltd

◆貸借対照表

	【連結】 (単位:百万円)			
	前連結会計年度	年度 当連結会計年		
	金額	金額	前期比	
			%	
流動資産	14, 848	15, 295	3. 0	
	[71. 2%]	[70.4%]		
 固定資産	5, 994	6, 443	7. 5	
田足貝庄	[28.8%]	[29.6%]		
資 産 合 計	20, 843	21, 738	4. 3	
其座口 II	[100.0%]	[100.0%]		
 流動負債	8, 469	8, 485	0. 2	
加勒良良	[40.6%]	[39.0%]		
固定負債	1, 984	2, 221	11. 9	
四尺只顶	[9.5%]	[10. 2%]		
純資産	10, 389	11, 030	6. 2	
- 「一」 - 「一」 - 「一」	[49.8%]	[50.8%]		
負債純資産合計	20, 843	21, 738	4. 3	
负 误帐 员 庄 口 前	[100.0%]	[100.0%]		

	【単独】	(単位:百	万円)	
	前事業年度	当事業年度	<u>.</u>	
	金額	金額	前期比	
			%	
流動資産	13, 818	14, 140	2. 3	
	[71. 7%]	[70.7%]		
固定資産	5, 462	5, 872	7. 5	
	[28.3%]	[29.3%]		
資 産 合 計	19, 281	20, 012	3. 8	
貝 庄 口 叫	[100.0%]	[100.0%]		
流動負債	7, 882	8, 107	2. 9	
煮 玖 只 贝	[40.9%]	[40.5%]		
固定負債	1, 759	2, 053	16. 7	
	[9.1%]	[10.3%]		
 純 資 産	9, 639	9, 851	2. 2	
一种	[50.0%]	[49. 2%]		
	19, 281	20, 012	3. 8	
只误代只注口引	[100.0%]	[100.0%]		

貸借対照表関連経営指標

【連 結】

	前連結会計年度	当連結会計年度				
◎流動比率	175.3%	180.2%				
◎自己資本比率	49.8%	50.7%				
◎一株当たり純資産	1, 941. 64円	2,061.56円				

【単独】

	前事業年度	当事業年度
◎流動比率	175.3%	174.4%
◎自己資本比率	50.0%	49.2%
◎一株当たり純資産	1, 801. 45円	1,841.16円

◆損益計算書

【連結】 (単位:百万円) 前連結会計年度 当連結会計年度 百分比 百分比 前期比 27, 024 100. 0 25, 174 100. 0 21, 682 23, 157 85. 7 6.8 86. 1 上総利益 3, 491 3, 867 13. 9 14. 3 10.8 7.4 2,603 10.3 2.795 10.3 及び一般管理費 20.6 業 利 益 888 3. 5 1.071 4.0 業外収益 0.3 67 0. 2 <u>∆6.9</u> 49 業外費用 0. 2 54 0.2 10. 2 利 911 3. 6 , 084 4.0 19.0 49 利 0.0 **△**95. 9 885. 2 0. 1 266 1.0 税金等調整前 934 3.7 820 3.0 Δ12. 2 当期純利益 法人税、住民税 及 び 事 業 税 403 1.6 175 0.6 △56.6 232 法人税等調整額 16 0. 1 0.9 **△**19. 5 513 2.0 1.5

		1]	单 独】		(単位	拉:百万円)
		前事業	年度	7	当事業年月	
			百分比		百分比	前期比
			%		%	%
売	上	23, 279	100. 0	24, 957	100.0	7. 2
売	上原個		86. 4	21, 684	86. 9	7. 8
売売	上総利益		13. 6	3, 273	13. 1	3. 2
販及営営営経		2, 352	10. 1	2, 483	9. 9	5. 6
営	業利益		3. 5	789	3. 2	△3. 5
営	業外収益	160	0. 7	164	0. 7	2. 5
営	業外費用	45	0. 2	48	0. 2	6. 7
経	常利益	933	4. 0	905	3. 6	△3. 0
特	別利益	49	0. 2	0	0.0	△98. 5
特特	別損失	229	1. 0	265	1.1	15. 7
	税引前 当期純利益	754	3. 2	640	2. 6	△15. 1
法及	人税、住民利 び 事 業 税	E	1. 7	156	0. 6	△60.8
法	人税等調整額	15	0. 1	213	0. 9	_
当	期純利益	340	1. 5	271	1.1	△20.3

損益計算書関連経営指標

【連結】

	<u> </u>	
	前連結会計年度	当連結会計年度
◎売上高経常利益率	3. 6%	4. 0%
◎自己資本利益率(ROE)	5. 1%	3. 9%
◎1株当たり当期純利益	95. 95円	77. 20円

【単独】

	前事業年度	当事業年度
◎売上高経常利益率	4. 0%	3. 6%
◎自己資本利益率(R0E)	3. 6%	2. 8%
◎1株当たり当期純利益	63. 73円	50.67円

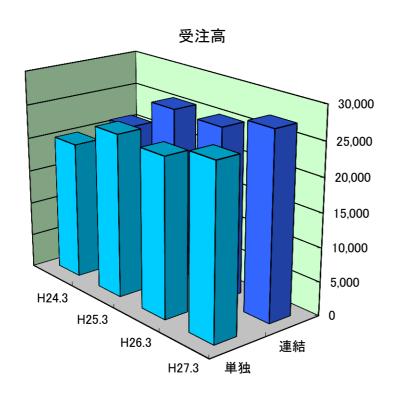
配当性向

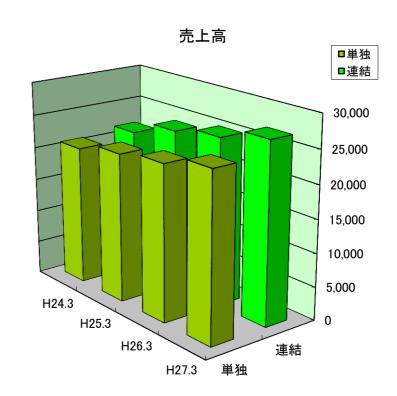
【連結】

前連結会計年度 17.7% 当連結会計年度 22.0% 【単体】

前事業年度 26.7% 当事業年度 33.6%

◆受注高・売上高・繰越高の推移





受注高・売上高・繰越高

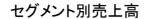
(単位:百万円)

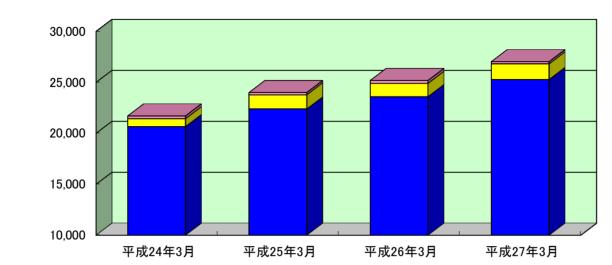
_							(TE: H	7313/
		平成24年3月	平成25年3月	伸 率	平成26年3月	伸率	平成27年3月	伸率
受注高	(連)	20, 959	25, 754	22. 9%	25, 408	△1.3%	27, 446	8. 0%
	(単)	20, 187	24, 045	19. 1%	23, 385	△2. 7%	25, 317	8. 3%
売上高	(連)	21, 703	23, 993	10. 6%	25, 174	4. 9%	27, 024	7. 3%
	(単)	20, 930	22, 355	6.8%	23, 279	4. 1%	24, 957	7. 2%
繰越高	(連)	2, 642	4, 403	66. 7%	4, 637	5. 3%	5, 059	9. 1%
	(単)	2, 642	4, 332	64.0%	4, 438	2. 4%	4, 798	8. 1%

◆セグメント別売上高

■その他

□ 表面処理事業(タイ国) ■ 設備工事事業





セグメント別売上高

(単位:百万円)

	区分	平成24年3月	平成25年3月	伸率	平成26年3月	伸率	平成27年3月	伸率
	産業プラント設備工事	8, 432	10, 414	23. 5%	9, 477	△9.0%	11, 549	21. 9%
	設備保全工事	5, 134	5, 379	4. 8%	6, 185	15. 0%	5, 635	△8.9%
┃ ┃設備工事事業	電気計装工事	4, 369	4, 585	4. 9%	5, 918	29. 1%	5, 668	△4. 2%
以	送電工事	1, 271	1, 113	△12. 4%	1, 030	△7. 5%	1, 472	42. 9%
	管工事	1, 454	894	△38. 5%	985	10. 2%	953	△3. 2%
	小計	20, 663	22, 386	8. 3%	23, 597	5. 4%	25, 280	7. 1%
表面処理事業(タ	表面処理事業(タイ国)		1, 393	80. 4%	1, 299	△6. 7%	1, 532	17. 9%
その他	鋳造用工業炉	267	212	△20.6%	277	30. 9%	211	△24.0%
	小計	267	212	△20.6%	277	30. 9%	211	△24.0%
	合計	21, 703	23, 993	10. 6%	25, 174	4. 9%	27, 024	7. 3%

平成28年3月期 業績予想

◆平成28年3月期の業績予想①

- ●設備工事業界においては、公共投資は堅調に推移するものと思われますが、 民間製造業の海外移転は継続しており、国内設備投資の回復は緩やかな ものと予想されます。一方で、人手不足による労務費の高騰や施工遅延など が顕在化しております。
- ●次期の見通しは、国内の設備投資は総じて厳しいものと予想しております。このような状況なかで、機械・電気一体の総合施工体制を軸に営業の強化を行う一方、海外子会社3社と連携し、海外案件に積極的に取り組んで行きます。売上高、営業利益、経常利益は当連結会計年度並みを予想しております。当期純利益は特別損失がなくなるため、当連結会計年度を上回る見通しを立てております。

(詳細は次ページをご参照下さい)

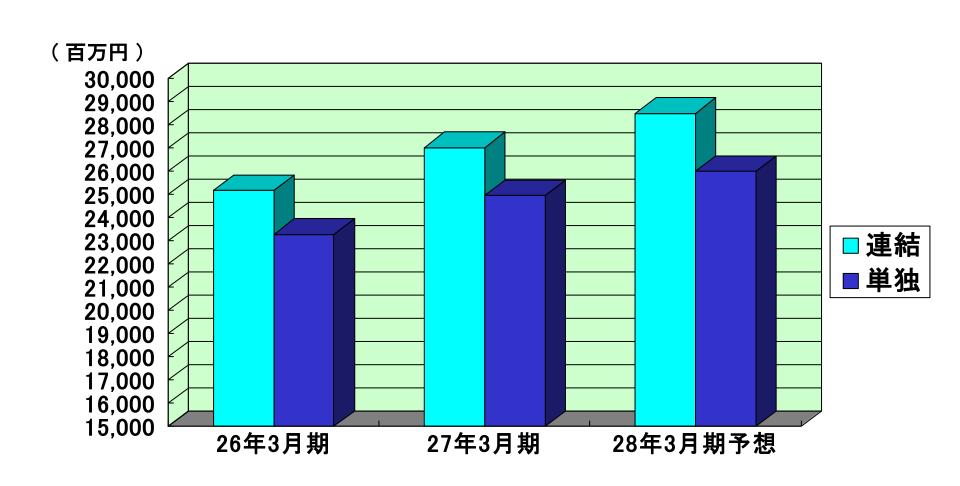
◆平成28年3月期の業績予想②

【通期業績の見通し】

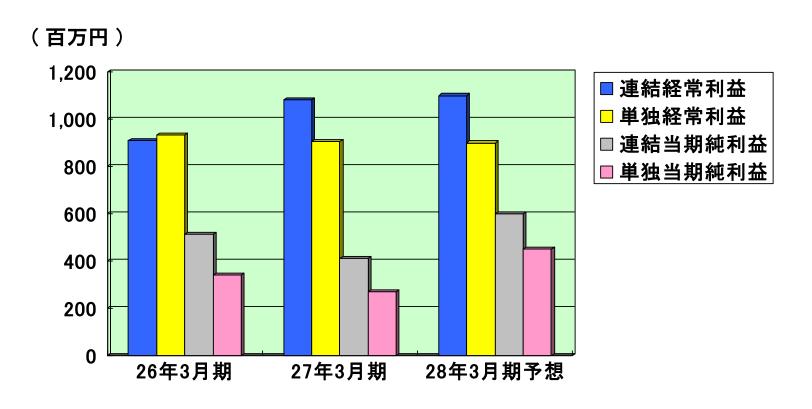
(単位:百万円)

	連結	前期実績	単独	前期実績
売 上 高	28,500	27,024	26,000	24,957
営業利益	1,000	1,071		789
経常利益	1,100	1,084	900	905
当期純利益	600	413	450	271
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	112円14銭	77円20銭	84円10銭	50円67銭
1株当たり配当金	_		(予想)17円	(予定)17円

◆平成28年3月期売上高予想 (連結285億円、単独260億円)



◆平成28年3月期経常利益予想 (連結11.0億円、単独9.0億円)



本資料に関するお問い合わせ

田辺工業株式会社〈経理課〉

TEL: 025-545-6500

E-mail: keiri@tanabe-ind.co.jp